

授業科目名	コミュニケーション・人間関係論	担当教員	中村千賀子
必修	開講年次：1年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30 時間

【授業概要】

自己理解を深め、その上でコミュニケーションの知識、技法を学ぶことにより、日常の人間関係を良好に保つ能力を身に付けるとともに、臨地におけるクライアントとの良好な関係づくりの基盤を学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 人間関係における社会的相互作用やコミュニケーションの基礎的知識と 技術を身に付ける。
2. 自己を理解する理論と基礎的技術を身に付ける。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 人間の健康について
- [02] 人間とコミュニケーション
- [03] 人間の捉え方について [人間観]
- [04] 人格としての人間
- [05] コミュニケーションの働き
- [06] 対話の演習 1
- [07] 対話の演習 2 動画等の鑑賞
- [08] 対話の演習 3 動画等の鑑賞
- [09] Porter の態度分析
- [10] 医療者と患者の人間関係
- [11] MedicalInterview とコミュニケーション
- [12] カウンセリングのプロセス
- [13] 患者の語りから何を学ぶか学習者としての心構えサイエンスとアート
- [14] 対話の演習 4 動画等の鑑賞
- [15] まとめ

【教科書】

特に定めない

【参考書】

- 1) 小林純一 (1979) : カウンセリング序説、金子書房
- 2) 医療コミュニケーション研究会編 (2009) : 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ、篠原出版新社

【評価方法・評価基準】

1. クラスへの参加態度 (30%)
2. 対話の演習への参加態度 (20%)
3. テスト (筆記試験) (50%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前：ノートを用意して、クラスではノートを必ずとること。

事後：とったノートの内容を、次のクラスまでに一度は目を通しておくこと

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ．教養教育で担う普遍的基礎能力、Ⅱ：質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅴ：多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ：生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

模範解答を提示する場合がある

【備考】